

消防団だより

第54号

発行 府中市消防団
編集 府中市消防団広報委員会
(府中市行政管理部防災危機管理課内)
TEL 042・335・4068

【府中市消防団員職業別構成割合】
公務員7.9% 農業6.6% 商業1.4% 小売業8.1%
金融保険業2.4% 不動産業4.1% サービス業15.0%
建設業23.0% 製造業4.2% 商社0.5% 飲食店5.4%
造園業3.0% 運輸通信業4.7% 電気ガス業4.9%
学生0.7% その他8.1%

新体制にあたり

府中市消防団長 本間 郁浩



府中市消防団長
本間 郁浩

今年、4月1日(木)に令和3年度府中市消防団入退団式を執り行い、新体制がスタートしました。

今年度の入退団式も、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置を徹底し、式典の規模等を縮小しての開催となりましたが、ご臨席を賜りました皆さまには、心より御礼申し上げます。また、令和2年度をもちまして退団された9名の方々には、長年にわたり消防団活動に日夜献身的に取り組んでこられましたことに深く感謝申し上げます。

この度、新たに副団長1名、分団長2名、新入団員9名を任命し、総勢410名の新体制でのスタートとなりました。今年度も府中市消防団が一丸となって、府中市民の安全と安心のために力を尽くして参りますので、引き続き消防団活動にご理解とご協力をお願いいたします。さて、昨年度を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、社会情勢、日常生活に影響が及び、消防団の活動にも制限が強いられる状況ではございましたが、各分団において分団長が中心となり、工夫を凝らしながら様々な消防団活動を行いました。

市内の火災の状況としては、残念ながら焼損床面積は前年比で増加となり、年末年始には火災が多く発生し、命を落とされた方も出るという大変残念なことになりました。

風水害については、本市が被害を受けることはありませんでしたが、全国に目を向ければ、「令和2年7月豪雨」などの風水害が発生し、熊本県をはじめ全国各地に甚大な被害をもたらしました。近年では毎年のように発生している自然災害により、これまで以上に地域防災の中核を担う消防団への期待は高まっています。



▲入退団式



▲府中市消防団消防ポンプ車

分団長をはじめ各分団の方々には、消防団員の使命を自覚するとともに、府中市消防団が地域防災の中核として市民の信頼と期待にこたえられるよう、なお一層、消防団活動の充実に邁進されることを心からお願ひ申し上げます。

令和3年度を迎え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、消防団を取り巻く状況も日々変化していくことが考えられます。こうした状況のなかにあっても、私たち消防団は、府中市民の安全と安心を守るため、火災出動をはじめ、いつ起こるか分からない様々な災害に備え、その対応に万全を期すことには変わりはありません。

加藤 英治 消防署長 就任挨拶



府中消防署長
加藤 英治

府中消防署長の加藤でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

4月1日に着任いたしましたので、新型コロナウイルス禍で府中市消防団や府中市との災害対応に必要なコミュニケーションも難しいのではと心配していましたが、杞憂にすぎませんでした。なぜなら、府中市消防団本部と府中市防災危機管理課が消防署と合築されており、日頃から、一つの組織のように連携、コミュニケーションが取られているからです。こうした環境は他署にはありません。

そして、府中市消防団の団員の皆さまの活躍が目覚ましいのです。消防署の職員は災害に備えて常に待機していますが、消防団の皆さまは、それぞれの仕事をされています。突然に火災の連絡を受けてから目の前の仕事を調整して、分団に集まって消防車で現場に向かうのですが、消防署の消防車に遅れることなく火災現場に到着して延焼を阻止されているのです。これは必然ではなく、日頃からの多面に渡る努力の積み重ねなど一朝一夕にできることではないと、敬服するばかりです。

4月に着任して、こうした府中市の環境で、また府中市消防団の皆さまと一緒に仕事ができますことを光栄に思っております。そして、感染症対策を徹底し日々の災害に備え、震災や水害にも適時適切な対応が図れるよう府中市消防団や府中市と更に連携して、府中署員一丸となって、府中市民皆さまの安全、安心のため邁進していく所存ですので、引き続き消防行政へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、府中市消防団が本間団長を中心に益々活躍されますこと、団員の皆さまのご家族共々のご健勝を祈念申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

志村 誠 前副団長 退任挨拶



前副団長
志村 誠

32年前に消防団に誘っていただきまして先輩に感謝を申し上げますと共に、私の人生において、多くの出会いと知識を教えて下さいました。消防署、防災危機管理課、地域の皆様に深く感謝申し上げます。

消防団員は、仕事をしながら火災、災害があれば集合し活動します。仕事は幅広い方々がいますので、団員同士での情報交換もできました。また、日頃の点検活動で消防知識・技能を得ることができました。この出会いと知識を今後、地域に少しでもお役に立てるようにしていきたいと思っております。

新型コロナウイルスの中、活動が制限されることが多いかと思いましたが、府中市消防団の今後益々のご発展をお祈り申し上げます。

海老澤 拓馬 副団長 就任



新副団長
海老澤 拓馬

志村前副団長の退任に伴い、令和3年4月1日付で海老澤拓馬氏が副団長に就任しました。

海老澤副団長は、平成10年から第11分団へ入団し、平成28年から3年にわたり分団長を勤められました。今後は、第6分団、第10分団、第11分団の担当副団長となります。

新入団員教育訓練

4月1日から第3分団配属となりました。荒井勇人と申します。

友人や地域でお世話になっている先輩方からの勧めもあり入団を決意しました。

4月11日には大國魂神社境内において新入団員規律訓練が行われました。消防団においての基本的な姿勢や敬礼、整列などを指導員の方々のもとで学び、その後で見学した



分団長の方の訓練の姿は、新人訓練とは比べられないほど正確さと迅速さがありました。普段では経験できない訓練や体験、人との関わりを通して礼節や姿勢、地域での活動などを見て学ぶ機会を得られ改めて入団させていただいたよかったですと思えました。これから教わることで、見て学んだことを地域の活動、そして他の方へ伝えられるように日々努めていきたいと思っております。

府中市合同水防訓練

令和3年5月23日(日)、多摩川河川敷押立地区において、府中消防署・府中市消防団・府中市による府中市合同水防訓練が行われました。

本訓練は、台風が接近し、多摩川の増水による越水危険等を想定し実施され、水害時における実践即応の現場部隊運用、防水活動技術の向上及び関係各所の円滑な連携を図り、水防体制の万全を期するものであり、実際の災害時さながらの緊迫した雰囲気で行われました。



退団された分団長ご挨拶



前第7分団長 秋山 敏行

はじめに、府中市消防団員として分団長2年間を含む26年間、府中消防署並びに府中市消防団、防災危機管理課の皆様をはじめ、活動を共にした消防団員や地域の皆様に対し、長きに渡りご指導を賜りましたことに心から感謝を申し上げます。

18歳で入団してからの26年間は、一昨年の台風19号の襲来による府中市として初めて発令された避難勧告、新型コロナウイルス感染症拡大など、消防団員としての役割を考えさせられる出来事が多くありました。毎年のように自然災害が発生する中、市民の生命財産を守る消防団活動の役割の重さを感じました。退団した後も、地域防災力の向上に向け活動をしていきたいと思えます。



前第8分団長 石澤 慶憲

この度、令和3年3月31日をもって府中市消防団を退団いたしました。

平成11年の入団以来、22年間消防団員として地域の防火活動に務めてまいりましたが、こうして22年間活動できたのも地域の皆様をはじめとし、本団、分団長会、事務局、消防署、関係各機関様、そして8分団の仲間、皆様のご指導、ご協力、ご支援のおかげで消防団活動を終える事ができました。

今後は22年間の消防団活動で学んだ経験を活かし、微力ではございますが、地域の皆様と共に防火、防災に貢献できればと思っております。

結びに、府中市消防団のさらなるご発展をご祈念申し上げます。ありがとうございました。

消防団幹部紹介

※令和3年4月1日現在

【団本部】



団長 本間 郁浩 昭和63年4月1日入団 (団歴32年)



副団長 堀江 一男 平成7年4月1日入団 (団歴26年)



副団長 中田 和夫 昭和60年4月1日入団 (団歴34年)



副団長 川崎 好之 平成5年4月1日入団 (団歴26年)



副団長 田村 茂 平成16年4月1日入団 (団歴17年)



副団長 村井 雅一 平成5年4月1日入団 (団歴26年)



副団長 海老澤 拓馬 平成10年4月1日入団 (団歴22年)

【分団長】



第1分団長 比留間 隆博 平成12年4月1日入団 (団歴21年)



第2分団長 田中 一彦 平成22年4月1日入団 (団歴11年)



第3分団長 外崎 敬大 平成10年4月1日入団 (団歴23年)



第4分団長 金井 敦史 平成19年4月1日入団 (団歴14年)



第5分団長 内海 紘行 平成10年4月1日入団 (団歴23年)



第6分団長 中村 善隆 平成14年4月1日入団 (団歴19年)



第7分団長 芳賀 巧 平成11年4月1日入団 (団歴22年)



第8分団長 久村 聡一 平成12年4月1日入団 (団歴21年)



第9分団長 田中 敬輔 平成16年4月1日入団 (団歴17年)



第10分団長 野口 富嗣 平成9年4月1日入団 (団歴24年)



第11分団長 岡野 亨 平成16年4月1日入団 (団歴17年)



第12分団長 佐伯 佳孝 平成7年4月1日入団 (団歴26年)



第13分団長 林 雄一 平成12年4月1日入団 (団歴21年)



第14分団長 松本 聡 平成14年4月1日入団 (団歴19年)



第15分団長 森田 吉隆 平成17年4月1日入団 (団歴16年)



第16分団長 澤井 薫 平成14年4月1日入団 (団歴19年)



第17分団長 中村 健太郎 平成9年4月1日入団 (団歴24年)



第18分団長 大貫 剛 平成8年4月1日入団 (団歴25年)

令和2年度中 勤続4年以上で 退団された皆さん

12年以上(6名)

本 団 志村 誠

第6分団 大谷 泰彦

第7分団 秋山 敏行

第8分団 石澤 慶憲

第8分団 和田 孝弥

第8分団 曾我 祥信

8年以上12年未満(1名)

第4分団 加藤 善規

4年以上8年未満(2名)

第2分団 鹿島 邦幸

第11分団 花岡 良太

令和3年度新入団員

第3分団 荒井 勇人

第4分団 田代 拓司

第6分団 花岡 利侔

第8分団 湯地 健太

第8分団 門馬 邦治

第8分団 西山 健太郎

第8分団 高崎 優希

第11分団 松原 由弥

第11分団 小澤 亮賢

Table with 2 columns: Position (会長, 副会長, 副団長, 本間 郁浩) and Name (川崎 好之, 本間 郁浩)

Table with 2 columns: Position (広報委員長, 副委員長) and Name (大清水 航, 田村 茂)

Table with 2 columns: Position (東部ブロック長, 中部ブロック長, 西部ブロック長) and Name (山口 正和, 中島 達朗, 澤井 政善)

Table with 2 columns: Position (東部広報委員, 中部広報委員) and Name (小倉 俊秀, 酒井 敬司)

Table with 2 columns: Position (中部広報委員) and Name (波多江 大介)

Table with 2 columns: Position (西部広報委員) and Name (北村 裕哉)

Table with 2 columns: Position (西部広報委員) and Name (種坂 晃一)

Table with 2 columns: Position (西部広報委員) and Name (藤原 光輔)

Table with 2 columns: Position (西部広報委員) and Name (松村 憲一)

Table with 2 columns: Position (西部広報委員) and Name (増田 哲也)

Table with 2 columns: Position (西部広報委員) and Name (山浦 大和)



東部ブロック長 第2分団 山口 正和

編集後記

消防団だより54号お読みいただきありがとうございます。第2分団広報委員の山口と申します。

さて、今年度も昨年度から続き新型コロナウイルスの影響で、消防団の活動も色々と制約されました。しかし紙面にあります府中市合同水防訓練等いつ起こるか分からない自然災害や火災に備えた訓練は工夫しながら実施しております。

末尾になりましたが、日ごろ消防団活動にご理解ご協力いただきます皆様へ感謝申し上げます。今後も応援お願い致します！